



毛呂山町マスコットキャラクター
もろ丸くん

議会だより

発行 / 毛呂山町議会
編集 / 毛呂山町議会だより編集委員会

MOROYAMA ASSEMBLY NEWS

もろやま

〒350-0493 埼玉県入間郡毛呂山町中央2丁目1番地 TEL 049-295-2112 URL <http://www.town.moroyama.saitama.jp/kakuka/gikai/>



卒園式（上町保育園）

3月の定例会

| | |
|----------------|--------|
| 平成24年度一般会計予算 | 2～3 P |
| 平成24年度特別会計予算 | 4 P |
| 平成23年度補正予算 | 5 P |
| 条例の改正等・議案の審議結果 | 6 P |
| 常任委員会レポート | 7 P |
| 一般質問 | 8～13 P |
| 人事・議会の動き | 14 P |

平成24年4月20日発行

第 **76** 号

議会だよりは議員の自主編集により発行し、この用紙は再生紙を使用しております。

一般会計予算

3月議会定例会

93億6,500万円

(前年比1.9%減)

平成24年度一般会計予算が賛成多数で可決されました。

予算総額は歳入・歳出とも93億6,500万円で、昨年の95億4,300万円に比べ、マイナス1.9%であり、額にして約1億7,800万円の減額となりました。

予算は第四次総合振興計画および協働のまちづくりを念頭に編成されています。24年度には、町道7号路線（川角グラウンドから川角中学校間）の工事が着工され、併せて教育施設の整備拡充などが進められます。

平成24年度 予算の主な内容

総務費

| | |
|--------------------|---------|
| 固定資産税評価資料作成業務 | 490万円 |
| 町内循環バス事業 | 1,068万円 |
| 防犯灯設置工事（LED防犯灯の増設） | 562万円 |

民生費

| | |
|----------------|-----------|
| 児童手当 | 5億5,500万円 |
| こども医療費中学終了まで | 8,757万円 |
| 介護給付費等、訓練等給付費等 | 5億6,543万円 |

衛生費

| | |
|----------|---------|
| 検診・予防接種等 | 8,759万円 |
|----------|---------|

労働費

| | |
|--------------|---------|
| 勤労者住宅資金貸付預託金 | 3,000万円 |
|--------------|---------|

土木費

| | |
|-----------------|-----------|
| 町道整備事業 | 2億9,786万円 |
| 武州長瀬駅北口周辺地区整備事業 | 5億8,254万円 |

教育費

| | |
|----------------|---------|
| 小学校トイレ改修工事 | 2,176万円 |
| 図書館の管理費 | 5,255万円 |
| 総合公園及び体育施設の管理費 | 4,588万円 |

一般会計予算、賛成多数可決！
平成24年度をもつて、小・中学校耐震工事が完了します。

平成24年3月定例会は、3月2日から3月23日までの会期で開催されました。主な議題は、条例の一部改正9件、規約の変更1件、事務の委託1件、補正予算5件、当初予算6件、町道路線認定廃止各1件、人事1件、報告2件の審議をしました。なお議案審議に先立ち行われた一般質問は11名が登壇し活発な質問が展開されました。

平成24年度



新武道場現地視察（毛呂山中学校武道場）

一般会計討論

一般会計予算の採決の前に
反対、賛成の討論が行われ
ました。

反 対

藤岡健司議員

町民の給与所得者の平均
年収が10数年連続で減少
している時に、町税の1・
9%の減額は町民の生活が
さらに厳しくなっているの
ではないか。今まさに、町
民は、深刻な不況で多くの
方々がさまざまな問題を抱
え、苦しんでいる時であり
ます。こうした方々の生活
を守ることを、より重点を
おき、予算配分をするべき
ではないか。長瀬駅自由通
路及び橋上駅舎整備工事の
施工については、町民の理
解が得られないのではない
か。これを町民の生活に回
すべきではないか。

岡野 勉議員
当予算では町立保育園の
3園から2園体制を目指し

ている。若草保育園は毎年
60名の定員を超える優良な
園だ。いま町は、60周年を
迎える園を「地域説明会」
もなく、保護者の合意も取
らず廃園を表明した。

閉園で東部地区から全く
保育園が無くなる。「職・
住」を無視した不合理な施
策だ。また理由にあげた「耐
震と借地」は他自治体では
全く問題なく克服してい
る。子どもが地域を救う！
予算の重点は子育て・若
者・高齢者支援で「安心・
安全な町づくり」に尽力願
いたい。

賛 成

小峰明雄議員

厳しい財政状況の中で、
地方交付税等による財源確
保での予算となり、私が切
望しております小学校トイ
レ改修工事の継続や小・中
学校特別支援学級用空調設
備設置工事。学力向上支援

員等の配置で引き続き児童
生徒の学力向上等のために
配慮した予算を評価する。
中学校終了までのことも医
療費の無料化を継続し、24
年度から窓口払いの一部廃
止等の少子化対策を評価す
る。町長、副町長は、職員
との信頼関係に努めていた
だき、職員全員が協力し尚
一層のご努力をお願いす
る。

千葉三津子議員

東日本大震災の影響や長
引く景気低迷で、町の行政
においても非常に厳しいも
のとなっている状況の中で
歳出予算では、防災対策・
障害福祉施策・児童福祉施
策の充実や生活環境対策等
の緊急性や重要性といった
優先順位に基づく、多くの
事業が予算計上されていま
す。特に子ども医療費窓口
払いの廃止は、公明党とし
て先輩議員が強く訴えてき
た事で、町の少子化対策と
して評価できる事業です。
歳入では町税が減少してい
る中で、安心と安全のまち
づくりを目指した予算内容
である。

平成24年度

特別会計(当初)予算

国民健康保険特別会計

歳入歳出44億8,521万円 (0.7%減)

国民健康保険は、被保険者の疾病、負傷、出産等に対し必要な保険給付を行い被保険者の健康を支えています。

◎主な歳入・歳出

| | |
|-----------------------|------------------------|
| ○歳入 | ○歳出 |
| 国民健康保険税 9億3,260万円 | 保険給付費 29億8,458万円 |
| 国庫支出金 9億1,897万円 | 後期高齢者支援金等 5億6,710万円 |
| 療養給付等交付金 2億1,553万円 | 前期高齢者納付金等 69万円 |
| 前期高齢者交付金 13億705万円 | 介護納付金 2億2,599万円 |
| 県支出金 2億4,271万円 | 共同事業拠出金 6億3,277万円 |
| 共同事業交付金 5億7,159万円 | |
| | (賛成多数可決) |

介護保険特別会計

歳入歳出18億312万円 (8.6%増)

高齢者が安心して暮らせるために介護予防を推進。制度試行12年を経過し、サービス利用者が増大しています。

◎主な歳入・歳出

| | |
|-------------------|---------------------|
| ○歳入 | ○歳出 |
| 支払基金交付金 5億74万円 | 保険給付費 17億1,637万円 |
| 保険料 3億9,513万円 | 地域支援事業費 3,301万円 |
| | (賛成多数可決) |

水道事業会計

収益的収入及び支出

| | |
|-------|-----------|
| 収益的収入 | 7億6,344万円 |
| 収益的支出 | 7億4,876万円 |
| 損益勘定 | 514万円の純利益 |

資本的収入及び支出

| | |
|--|-----------|
| 資本的収入 | 6,093万円 |
| 資本的支出 | 4億5,107万円 |
| 収入額が支出額に対して不足する額3億9,013万円は補填財源をもって補填する | |

◎主な事業

資本的支出の建設改良で配水施設整備費として配水管の更新等

(賛成多数可決)

後期高齢者医療特別会計

歳入歳出2億8,800万円 (9.4%増)

埼玉県内の全市町村が加入している埼玉県後期高齢者医療広域連合と市町村が連携し事務を行っています。町では受付窓口業務と後期高齢者医療保険料の徴収業務を担当しています。

◎主な歳入・歳出

| | |
|----------------|-----------|
| ○歳入 | |
| 後期高齢者医療保険料 | 2億1,298万円 |
| ○歳出 | |
| 後期高齢者医療広域連合納付金 | 2億7,013万円 |
| | (賛成多数可決) |

農業集落排水事業特別会計

歳入歳出2,787万円 (1.9%増)

農村地域における生活環境の整備と河川や用排水路などの水環境の保全を目的とした事業。

◎主な歳入・歳出

| | |
|-----------|----------|
| ○歳入 | |
| 一般会計繰入金 | 1,898万円 |
| ○歳出 | |
| 事業費(委託料等) | 1,187万円 |
| | (全員賛成可決) |

平成23年度

補正予算

一般会計（第7号）

予算総額103億1,355万円

歳入歳出それぞれ2億5,744万円追加

◎主な内容

- 新保育園建設工事
- 地域福祉基金

(賛成多数可決)

繰越明許費

繰越額9億3,169万円

◎内容

- | | |
|------------------|-----------|
| ○新保育園建設事業 | 2億6,941万円 |
| ○児童館外構改修工事 | 569万円 |
| ○町道7号路線道路改良事業 | 1億2,871万円 |
| ○武州長瀬駅北口周辺地区整備事業 | 4億1,500万円 |
| ○川角小学校体育館耐震補強事業 | 1,421万円 |
| ○泉野小学校体育館耐震補強事業 | 4,065万円 |
| ○川角中学校外構改修事業 | 5,800万円 |

繰越明許費とは

歳出予算の経費のうちその性質上または予算成立後の事由に基づき年度内にその支出を終わらない見込みのある物については予算の定めるところにより翌年度に繰り越して使用する事が出来る。

国民健康保険特別会計（第3号）

予算総額43億9,116万円

歳入歳出それぞれ2億9,238万円減額

◎主な内容

一般被保険者及び退職被保険者等に係る保険給付費の減額

(全員賛成可決)

水道事業会計（第3号）

収益的収入及び支出

収益的収入は2,020万円の減額で合計7億6,972万円

収益的支出は1,628万円の減額で合計7億5,558万円

損益勘定は665万円の純利益

資本的収入及び支出

資本的支出は4,592万円の減額で合計4億815万円と

なり、収入額が支出額に対して不足する額3億7,000万円

は補填財源をもって補填する

◎主な内容

収入の部 震災等による水道料金の減

支出の部 ・電気料金の減・企業債利子の減

(全員賛成可決)

介護保険特別会計（第2号）

予算総額16億3,786万円

歳入歳出それぞれ6,620万円減額

◎主な内容

保険給付費の支払見込み額を算定し、地域密着型

介護サービス給付費等を増額し、施設介護サービス

給付費等を減額

(全員賛成可決)

後期高齢者医療特別会計（第2号）

予算総額2億5,825万円

歳入歳出それぞれ369万円減額

◎主な歳入・歳出

埼玉県後期高齢者医療広域連合からの算定資料及

び事務費等の見込額を算定し、総務費及び後期高齢

者医療広域連合納付金を減額

(全員賛成可決)

条例の改正など

○毛呂山町印鑑条例の一部を改正する条例
外国人住民についても住民基本台帳法の対象になったため

(全員賛成可決)

○職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例

(全員賛成可決)

○毛呂山町手数料条例の一部を改正する条例

(全員賛成可決)

○毛呂山町体育施設に関する条例の一部を改正する条例

(賛成多数可決)

○毛呂山町重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例

(全員賛成可決)

○毛呂山町ひとり親家庭等の医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例

(全員賛成可決)

○毛呂山町介護保険条例の一部を改正する条例

65歳以上の被保険者の基準額が、41,600円から1,800円増額となり43,400円になりました。

(賛成多数可決)

○毛呂山町都市計画法に基づく開発許可等の基準に関する条例の一部を改正する条例

(全員賛成可決)

○毛呂山町営住宅管理条例の一部を改正する条例

(全員賛成可決)

○埼玉県後期高齢者医療広域連合規約の変更について

(全員賛成可決)

○毛呂山町と坂戸市との間の一般旅券の発給申請の受理、交付等に関する事務の委託について

10月1日より原則として坂戸市でパスポートの申請・交付手続きをすることとなります。

(全員賛成可決)

議案の審議結果 (3月定例会)

○は賛成 ×は反対 退は退席 討は討論 議は議長

| 議案 | 議員名(期数順) | | | | | | | | | | | | | 審議結果 | | |
|----|---|------|-------|-------|-------|------|------|------|-----|------|------|-----|------|------|------|----|
| | 弓田茂樹 | 佐藤秀樹 | 荒木かおる | 千葉三津子 | 村田忠次郎 | 宮寺征二 | 藤岡健司 | 下田一甫 | 岡野勉 | 小峰明雄 | 高橋達夫 | 長瀬衛 | 岡部和雄 | | 堀江快治 | |
| 3 | 毛呂山町印鑑条例の一部を改正する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | 可決 |
| 4 | 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | 可決 |
| 5 | 毛呂山町手数料条例の一部を改正する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | 可決 |
| 6 | 毛呂山町体育施設に関する条例の一部を改正する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ×討 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | 可決 |
| 7 | 毛呂山町重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | 可決 |
| 8 | 毛呂山町ひとり親家庭等の医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | 可決 |
| 9 | 毛呂山町介護保険条例の一部を改正する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ×討 | ○ | ×討 | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | 可決 |
| 10 | 毛呂山町都市計画法に基づく開発許可等の基準に関する条例の一部を改正する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | 可決 |
| 11 | 毛呂山町営住宅管理条例の一部を改正する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | 可決 |
| 12 | 埼玉県後期高齢者医療広域連合規約の変更について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | 可決 |
| 13 | 毛呂山町と坂戸市との間の一般旅券の発給申請の受理、交付等に関する事務の委託について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | 可決 |
| 14 | 平成23年度毛呂山町一般会計補正予算(第7号) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ×討 | ○ | ○討 | ×討 | ○ | 議 | 可決 |
| 15 | 平成23年度毛呂山町国民健康保険特別会計補正予算(第3号) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | 可決 |
| 16 | 平成23年度毛呂山町水道事業会計補正予算(第3号) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | 可決 |
| 17 | 平成23年度毛呂山町介護保険特別会計補正予算(第2号) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | 可決 |
| 18 | 平成23年度毛呂山町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | 可決 |
| 19 | 平成24年度毛呂山町一般会計予算 | ○ | ○ | ○ | ○討 | ○ | ○ | ×討 | ○ | ×討 | ○討 | ○ | × | ○ | 議 | 可決 |
| 20 | 平成24年度毛呂山町国民健康保険特別会計予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ×討 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | 可決 |
| 21 | 平成24年度毛呂山町水道事業会計予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ×討 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | 可決 |
| 22 | 平成24年度毛呂山町農業集落排水事業特別会計予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | 可決 |
| 23 | 平成24年度毛呂山町介護保険特別会計予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ×討 | ○ | ○討 | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | 可決 |
| 24 | 平成24年度毛呂山町後期高齢者医療特別会計予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ×討 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | 可決 |
| 25 | 町道の路線の廃止について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | 可決 |
| 26 | 町道の路線の認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | 可決 |
| 27 | 固定資産評価審査委員会委員の選任について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | 同意 |

常任委員会レポート

委員会に付託となった議案審査を行いました

《生活福祉常任委員会》

平成23年度一般会計補正予算及び平成24年度一般会計予算のうち、歳出の部民生費・衛生費・労働費・農林水産業費・商工費・土木費・災害復旧費・特別会計予算の国民健康保険・水道事業・介護保険・農業集落排水事業・後期高齢者医療・町道路線の廃止・認定の審査を行いました。なお、審査に当たり議案に関する現地視察を実施し慎重な審査を3日間行い、一般会計補正予算はじめ一般会計当初予算及び特別会計当初予算などいずれも可決すべきものと決しました。



仮称 坂戸西スマートインスター
現地視察 (坂戸市内)

- 問** 「子ども医療費窓口払い廃止」に向けた取組みに協力をいただける医療機関で進展はあったのか。
- 答** 歯科医師会、薬剤師会、埼玉医大でも了解をいただいた。
- 問** 「空き家」対策についての予算は計上しているのか。また区長会にも区内の調査をお願いし、実態をどのように活用するのか、是非とも「空き家条例」を作るべきと思うが如何か。
- 答** 生活福祉委員会の要望・主旨を理解し、提案として頂いた主旨を反映させるように努力致します。

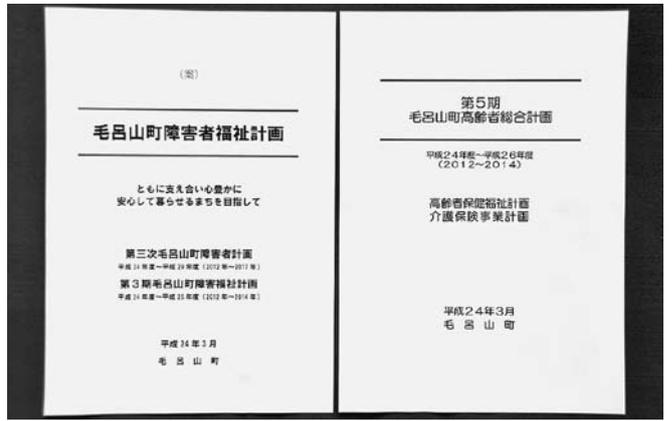
《総務文教常任委員会》

平成23年度一般会計補正予算及び平成24年度一般会計予算のうち、歳入の部全部、歳出の部で議会費・総務費・消防費・教育費・公債費・諸支出金・予備費について審査を行いました。尚、審査に当たり議案に関する現地視察を実施し、慎重な審査を3日間行い、一般会計は、可決すべきものと決しました。



総合公園環境整備事業現地視察
(大谷木地内)

- 問** 土曜日の授業の活用をめぐり、県内でも考えが別れている。当町の学校週5日制の範囲で進めると言う方針について、教育長の考えを伺いたい。
- 答** 平成19年度から実施されている「2学期制」は授業時数確保が大きな狙いでした。授業時数を確保して、授業を充実する事と、教育相談活動等の充実の為に実施したものです。新しい学習指導要領に於いても授業時数は確保できると考えています。
- 問** 町税は、この2年間で約2億円減収している。納税義務者が均等割で約200人減、所得割で250人減とあるが、人口が減ったのか。
- 答** 23年度の落ち込みがこれほど大きいとは予想が出来なかった。22年度から23年度にかけての雇用状況、景気の低迷等の影響が大きかった。納税義務者の所得また雇用状況の落ち込みが影響している。



第3期障害福祉・第5期高齢者の各計画に期待

学校施設の 雨漏りと改修計画は

補助金を活用した
大規模改修を考える

小峰 明雄 議員

問 平成23年度、教育費の予算執行の成果は。

答 学力に関する調査で小学校で、ほとんどの学校で95%の達成率。中学校でも、過去3年間で一番よい結果。教育相談活動の意図的・計画的実施。

問 学校図書館の充実。教育センターの機能の充実。施設の耐震補強工事を実施。毛呂山中学校の武道場の建替え、光山小学校・泉野小学校ではトイレ改修を進めており児童生徒の学習や生活環境の充実に資する改修を実施。

問 武道は日本の固有の運動文

化であり、礼を重んじる態度を育む等の狙いがある。1年間取り組まれた柔道の安全指導等は。

答 有段者の保健体育教師等が安全面に配慮しながら指導した。

問 子育ての目安「3つのめばえ」や小1プログラム等、過去に一般質問を致しましたが、小学校入学を控えた子ども達に、1年生の雰囲気や学校で体験していたなど等の取り組みも必要。

答 学校生活への心構えを醸成する上で有効と認識しており、引き続き取り組んでまいりたい。

問 平成23年度予算執行、子育て支援の成果等は。

答 子ども手当を支給。妊婦の健康管理と経済的負担の軽減を図る。母親学級等開催、予防接種の実施等で子育て支援を図る。

問 第2期毛呂山町障害福祉計画の3年間の成果、課題等は。

答 生活介護が21.3%、就労継続支援B型が34.0%と高い達成率。計画相談支援事業は、事業所数が乏しく実施は厳しい。

問 第4期毛呂山町高齢者総合計画の3年間の成果、課題等は。

答 高齢化率が毎年1%ずつ増加する現状。予防給付と地域支援事業を実施し、効果があったもの考える。

町を東西に結ぶ 最重要町道の改善を

安全確保を前提に改良を進める

下田 一甫 議員

問 カインズホーム先十字交差点から毛呂中東方の間は交通量の割には道路幅員が狭く通行が著しく危険、特に児童、生徒の登下校時が著しく危険が伴なう。

この間には八高線の踏切りがありこの幅員の狭いのも一因だが早期に改良すべき。

答 踏切り拡幅も含め安全対策手法等検討する。

問 カインズホームに沿った歩道は商業上の安全対策と思うが。

答 店舗敷地内に設けられた施設で敷地界で歩道は切れているので安全、安心のため検討する。

問 飯能寄居線バイパスを防犯

センター前で東西に横断している町道が右折のための車両渋滞が予想される。対策は。

答 警察、飯能県土整備事務所等の関係機関と協議、改修に向け検討する。

問 以前にも質問したが大谷木川に架かる鶴舞橋と接続する道路の改良は。

答 県で計画している河川改修工事に合わせ道路の測量設計を含めた橋の設計業務委託を予算計上した。

問 第6団地入口交差点の改善を。

答 横断歩道、路側線、停止線

等について早急に対応する。

問 悠久園から横沢家具店に至るカーブの改善を。

答 来年度改善すべく予算を計上した。

問 毛呂中前町道の幅員が狭くなっている所があるが。

答 歩行者の安全対策を踏まえ早急に検討する。

問 日化団地北側踏切りの改善を早期に。

答 一級町道の幹線道路であることから踏切り設計業務委託と踏切り拡幅に伴う取付け道路の測量設計委託料を予算計上した。



通学路で極めて危険な箇所



危険な避難階段

川角中学校 改設計業務の進捗状況は

整備計画を作成し早急にまとめたい

村田 忠次郎 議員

教育環境の整備充実

問 川角中学校大規模改設計業務委託の進捗状況と見通しは。

答 設計業務は三月末に終了。その後、整備計画を作成し早急にまとめたい。

問 学力、不登校、生徒

指導等の課題に対する予算措置は。

答 児童生徒に、きめ細やかな指導を行うために一六名の支援員を準備しました。

問 新年度の重点施策は。

答 川角・泉野小学校体育館の耐震補強工事、川角中学校武道場改修工事。ソフト面では「確

かな学力」の育成、基本的生活習慣の定着と規範意識の向上を目指します。

問 地域防災計画の見直しについて

答 ①避難所設置場所や避難所運営方針②要援護者支援対策③災害情報伝達方法④避難準備、

問 災害を想定して、どの程度の訓練を計画するのか。

答 町を東部・中部・西部に分けて交互に実施。今後各行政区単位で「自主防災組織」を活かした訓練ができるよう啓発します。

問 実地訓練が大切です。町内

像を聞きながら、安全で快適な生活が確保できるように進めて参ります。

問 高齢者支援事業。

答 「地域見守り隊」の各地域での組織化に向け、関係各課の職員で構成したプロジェクトチームを立ち上げ支援の具体的な方法を検討し推進して参ります。

全域で訓練を実施できないか。

答 「毛呂山町防災会議」で協議します。

問 防災会議の委員に女性や地質学専門家を入れる予定はあるか。

答 防災会議で協議します。

問 モデル的な自主防災組織を町内全域に広げる為の町の関与は。

答 区長会・幹事会でお願ひし、年度中に22行政区から31行政区での組織化を目指します。

問 崖崩れ等で陸の孤島となる地域を想定した訓練、また住宅密集地や高齢者が多い地域には特別な支援が必要と思うが？

答 防災会議に提案します。

今年の主な事業の一つ「地域見守り隊」を 具体的にどのように進めるのか

プロジェクトチームを立ち上げ推進

佐藤 秀樹 議員

問 企業誘致に対する進捗状況。

答 12月以降の活動は、1月に製造業約180社にパンフレットを送付し、2件の問い合わせがあったが継続協議には至っていません。

問 毛呂山町が他市町村と比べ誘致が進まない理由は何なのか。

答 候補地の検討や決定は、進出企業が主体的に行うものであります。本町としては、極力有利に働くように情報提供をし企業誘致に向け努力して参ります。

問 空き家問題のその後の展開

答 只今机上にて、水道の閉栓リストを参考に調査を始めたところ

です。

問 農業の推進について今後の取り組みは。

答 「農地利用に関する意向調査」の結果ですが送付数907件に対し回収率は64%であり、内訳は、現状維持・451件、規模拡大したい・12件、規模縮小したい・72件、離農したい・10件、であり今後は、遊休農地の活用を推進すると共に意欲ある

問 今年度の重点施策は。

答 川角・泉野小学校体育館の耐震補強工事、川角中学校武道場改修工事。ソフト面では「確

かな学力」の育成、基本的生活習慣の定着と規範意識の向上を目指します。

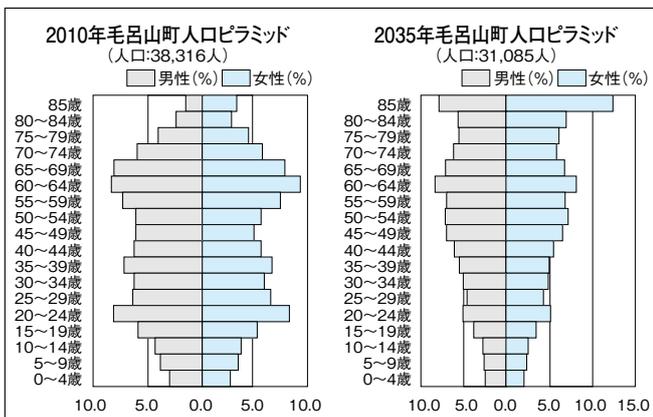
問 地域防災計画の見直しについて

答 ①避難所設置場所や避難所運営方針②要援護者支援対策③災害情報伝達方法④避難準備、

問 産業振興事業。

答 中山間地域の自然や環境、中山間地域特有の産物による加工品の開発などを増やし、観光と結びつけた事業を考えております。

問 中山間地域の自然や環境、中山間地域特有の産物による加工品の開発などを増やし、観光と結びつけた事業を考えております。



目で見える毛呂山町の人人口ピラミッド



地震を想定した実践的な防災訓練を

町主導で 実践的な防災訓練を！

実施に向け協議する

荒木 かおる 議員

問 災害時、学校での児童生徒の保護者への引き渡しはどのようなになっているか。

答 保護者が直接来校し引き渡す。登下校中の災害には「子ども110番の家」に緊急避難するな

ど、自ら安全な対応が取れるよう指導している。

問 通学時における実践的な避難訓練が必要ではないか。

答 各学校では学校教育に於てあらゆる場面を想定して教育しているのでご理解を頂きたい。

問 儀式的な避難訓練ではないか。

る。また、議員の傍聴で「疑義」を持たれる懸念がある。

問 町の説明では「平成24年度をもって若草保育園を閉園したい」とする説明であり、これに対して保護者は「初めて聞かされた」突然な・一方的な説明に驚きと憤りを表明した。私も同様な思いである。町は保護者会で「すでに議会の了承を得た」と報告（全員協議会は議決機関ではない）。同様に今の答弁では「保護者は町の意向に前向きであった」と「全く事実と反する」答弁を行っている。

毛呂山町長・町当局は「合意

く、各自が避難場所への経路や危険箇所を確認しながらの実践的な避難訓練を町主導で実施はできないか。

答 被害を最小限に食い止めるためには自助・共助の精神が最も重要。地域見守りネットワーク事業を確立させ、町主導の訓練の実施に向け協議して参ります。

問 避難所運営マニュアルは作成されているか。

答 残念ながら本町ではまだ作成されていない。災害時における円滑な運営を行うためにはマニュアルの策定が必要であると

認識している。今後、地域防災計画の見直しと併せ、早い段階で避難所運営マニュアルが作成できるよう努力して参ります。

問 泉野小学校は緊急ヘリポートとして指定されているため町の避難所として使用できない。耐震化の済んだ校舎は町民の貴重な避難所となるが、緊急ヘリポートの移動はできないか。

答 町としても現在、避難所の指定について埼玉県防災センターと協議を進めているところで、ご理解を頂きたい。

若草保育園の 存続を求めろ！

平成24年度をもって閉園したい

岡野 勉 議員

問 町長及び子ども課は2月7日に行われた若草保育園「保護者会」の議員傍聴を拒否された。議員は「住民全体の代表者である」と同時に「住民の考えていること、思い願っていること

のすべてを代表するということである」「住民と行政との橋渡

しをすべき議員は、住民の大きな声、小さな声、声なき声、ため息すべての声を把握してこれを代表すること（議員必携）この立場で傍聴を申し出たにも関わらず拒否をした。とても考えられない対応だが見解を求めろ。

答 町と保護者の話し合いであ

のないまま、「若草保育園の廃園」を押し進め・町民保護者に「不安な日々」を強いている。会議のルールとして「議会の了承」「町の意向に前向き」とする答弁の撤回が必要だ！

問 「若草保育園の廃園」で東部地区から全く保育園が無くなる。「通園の利便性は大きく損なわれ」「保育サービスの低下」地域で育つ園児に与える「ダメージ」は計り知れない。

答 「耐震と借地」を考慮すると「統合」したい。



何としても若草保育園の存続を！！



車の渋滞が解消され、活性化が待たれる毛呂本郷商店街

新飯能寄居線開通による 町活性化施策は

商工会と一層の連携を図り 活性化策を検討する

高橋 達夫 議員

問 2月18日開通式が行われ、これで新飯能・寄居線の越生、毛呂山町分全線が開通した事になる。町内の交通渋滞が解消されると同時に、車の流れが変わり、既存の商店街の変化が予想される。活性化

策はあるのか。
答 「ゆずの里と商店街」は、様々な地域と密着した活動を展開し、埼玉県より元気に活動している商店街として認定されている。今後、商工会と一層の連携を図り、商店街とも意見交換しながら、活性化に努める。

問 この道路の開通により、企業が誘致され、町は雇用創出と税収確保が期待されるのか。
答 葛貫南部地区はこれにより接道が確保され、事業用地としていよいよ脚光を浴びる地域となった。今後地権者と力を合わせ企業誘致を図る。
問 町の企業誘致条例では固定資産税二分の一を10年間免除するとある。これで町の目的である工場誘致により税収確保が図られるのか。
答 企業誘致条例を当町が策定したのが、平成21年と他市町に比べ遅れたため、高速道アクセス

ス等を考え、他市町等にない優遇策を考えた。これにより企業誘致を図りたい。
武道必修化について
問 今年の4月より中学1・2年生の体育の授業に武道(柔道・剣道・相撲)が必修化される。町はどの種目を選択したのか。
答 町では柔道を全学年に履修させる。
問 柔道については過去、練習中の死亡事故等の例が多くあり、最近マスクミ等で非常に心配されている。町では安全性の面で安全面を考慮し指導に当る。

選挙費用は いくらかかるのか?

町長選挙は880万
町議選は1,100万円

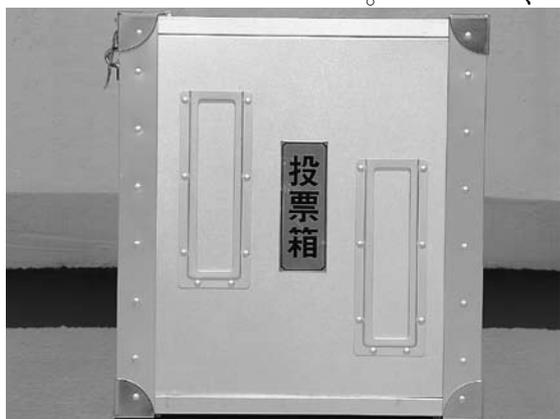
岡部 和雄 議員

問 県道開設に伴う観光行政。交通アクセス環境の向上により沿道の土地利用の可能性が高まる。本年度実効性のある観光計画を策定し公表する。
問 鎌北湖の周辺整備は。
答 閉店しているお店、周遊道路、駐車場など今後調査する。観光課の新設を求める。

問 職員の削減により数年後に課の縮小を含めた機構改革予定。年間を通じてイベントが多い。集約して町全体の観光行政のイベントにし集客を図れ。
答 魅力あるイベントを工夫し、集客力アップにつなげていく。
問 新設県道に雇用は生まれる。葛貫地内は、事業用地とし

て脚光浴びる場所だ。
問 地元県議の道の駅構想は。
答 県議から道の駅のお話は聞いた。今後既存の直売所との関係、運営の仕方など町として協力できることはしていく。
問 現法での同一投票日は可能か。
答 統一選挙の年は前半を県議選後半を長の選挙と期日を定めているので同日に執行できない。町議選は公選法第33条で任期満了の30日以内に行うと定めているので町長選と町議選を同日に執行はできない。
問 投票費用も税金だ。町長選挙と町議選の費用は。

問 町長選で約880万円。町議選で約1100万円。
問 所沢市長の特区申請は、市長が市議選の選挙期日にあわせて退職し市長の任期を選挙の日とする内容だ。
答 申請結果はまだ出ない。
問 申請が通れば同一投票日にできる。仮に議員が首長選挙の期日にあわせて議会を解散すれば同一投票日にできるのか。
答 公選法第33条の定めるところにより同日投票が可能であると認識している。



投票率がアップするダブル選挙



新武道場（毛呂山中学校）

教職員の勤務実態を どうとらえているか

事務的業務や生徒指導、補習・部活動等に要する時間が増加している

藤岡 健司 議員

問 厳しくなっている教職員の勤務実態をどうとらえているか。

答 文部科学省の教職員勤務実態調査において、事務的業務や生徒指導、補習・部活動等に要する時間が増加している実態

が明らかになり、埼玉県でも教職員の恒常的で過剰な負担を軽減するよう、学校現場における勤務態様の見直しを図っているところ。

問 いじめや不登校の現状について。

答 今年度いじめが小学校で0

件、中学校で1件、不登校が小学校で7人、中学校で14人の報告を受けている。いじめ・不登校については、各学校で学校生活アンケート等の実施や日々の観察・相談活動を通して、早期に実態を把握するとともに、解消に向けて組織的に対応しております。また、関係機関との連携や不登校対策委員会にて各校の現状や対応策について協議しながら、いじめの根絶、不登校児童生徒の解消に向けて、各学校と指導の連携をより一層深めていきたい。

問 ゴミの減量化について

問 せん定後の枝の処理について、坂戸市では、ゴミの減量化のため、チップ機の貸出事業と購入補助事業を展開している。町でも、何らかの方法を検討してみているか。

答 坂戸市では庭木等の剪定により発生した枝等の処分について、平成18年から大型、中型、小型のせん定・枝チップ機3台を用意して、無料貸出事業を実施しており、かなりの成果を得ているようです。新たにチップ機の導入につきましては今後も検討していきます。

中長期的な課題は！

6年後、町人口は3万3千人、
平均高齢化率33%と厳しい

長瀬 衛 議員

問 子どもや高齢者を取り巻く環境はここ数年で大きな転換期がやってくる。悲観的な材料だ。中長期的課題は何か。東武3駅で最も利用者の少ない長瀬駅にほぼ全額が国・町負担の約9億円

の橋上駅建設や根拠のない新保育園計画は社会の構造変化に

対応しておらず、場当たりの数字的根拠も不明確である。

答 平成30年の町人口は3万3,188人、高齢化率33・2%と予測。危機感を持ちたい。小学校も現在の1800人から1300人台に減少の見込みであり、国の動向を見据え

ながら、少人数学級の拡大、統合など視野に入れ研究していく。

問 地域見守り活動と自主防災組織は一体であるべきだ。日常の見守り・安否確認によって災害時の助け合いに発展する。団地では軒並み高齢化率40%

の時代が目前であり、リーダー養成や連絡協議会の開催など町の強い姿勢が必要だ。

答 できるだけ多くの地区で組織づくりをお願いし、危機感を持ち、地域の実情に合った見守り隊を組織していただきたい。自主防災組織と見守りはイコ

ル。

問 新川越坂戸毛呂山線！

答 都市計画道路の内、県道整備率が極めて低い。この12年間、一度も新川越坂戸毛呂山線を要望しなかったのは野久保線の影響であり、道路政策は間違っている。企業誘致、雇用、観光など全てはこの道路にかかっており越生町にも呼びかけ全力を傾けて取り組むべきだ。

答 全力を傾ける。



地域をガード！ 毛呂山台見守りネットワークチーム

表彰

人事

全員協議会

平成23年度全国町村議長会

自治功労者

(在職27年以上)

堀江 快治 氏

毛呂山町岩井西

昭和20年8月生

農業委員会委員

(再任)

長瀬 衛 氏

毛呂山町南台

昭和23年9月生

固定資産評価委員

(再任)

荏原 茂 氏

毛呂山町川角

昭和23年8月生



議会の動き

- 1月20日 第75号議会だより発行
21日 都市計画道路川越坂戸毛呂山線道路整備要望 (県庁)
30日 全員協議会
2月 9日 広域静苑組合議会定例会
10日 坂戸地区衛生組合議会定例会
13日 入間郡町村議会議長会 (越生町役場)
14日 西入間広域消防組合議会定例会
15日 埼玉県町村議会議長会正副議長及び事務局長合同研修会 (県民健康センター)
21日 毛呂山・越生・鳩山公共下水道組合議会定例会
22日 埼玉西部環境保全組合議会定例会
23日 議会運営委員会
3月 1日 埼玉県町村議会議長会定期総会及び自治功労者表彰式 (県民健康センター)
2日 第1回(3月)定例会
23日 2日 全員協議会
13日 } 総務文教常任委員会、生活福祉
14日 } 常任委員会
16日 }

次回定例会は6月です。

3月定例会傍聴者数

| 本会議日 | 傍聴者数(人) |
|----------|---------|
| 3月2日(金) | 0 |
| 3月5日(月) | 7 |
| 3月6日(火) | 33 |
| 3月7日(水) | 32 |
| 3月8日(木) | 0 |
| 3月9日(金) | 1 |
| 3月23日(金) | 12 |

傍聴席

異動

退職 議会事務局長 関口 隆 氏

新任 議会事務局長 坂下 均 氏

(水道課長より)

【1月30日の議題】

1. 若草保育園の今後の方向性について
2. 借用地である大類グラウンドの今後の取り扱いについて

【3月2日の議題】

1. 平成24年度一般会計当初予算案の概要について
2. 毛呂山町選挙管理委員及び同補充員の選挙について
3. 保育園の設計概要について

(1) 新保育園の設計概要

① 場所 毛呂山町平山1丁目47の11

② 面積 4889㎡

③ 建築面積 1370㎡

④ 構造 木造平屋建て

⑤ 定員 75名

⑥ 施設内容 保育室

子育て支援センター
病後児保育室 その他

(2) その他

① 太陽光発電装置の設置

あとがき

例年になく寒い冬が続く梅も桜も開花が遅れました。「自然」も被災された方々の心を察し、悲しみ苦しみをジッと堪えていたのでしょうか。

三月定例会では、23年度補正予算、新町長体制になって初めての24年度当初予算等、多くの議案の審議が慎重に行われました。

また、一般質問でも、11名の議員から毛呂山町の発展を願い、多くの意見や質問が出されました。議会の真剣な雰囲気からも、大震災の波は毛呂山町にも及んでいる事を感じます。

町民の皆様にも納得されるより良い施策の実現を期待しています。

(村田忠次郎)

編集委員

委員長 藤岡 健司

副委員長 岡野 勉

委員 弓田 茂樹

佐藤 秀樹

荒木かおる

村田忠次郎

アドバイザー

(議長) 堀江 快治